

<研究企画委員会報告>

1. 委員会メンバー（12名）

委員長：佐土原 聡（横浜国立大学）

副委員長：村上 公哉（芝浦工業大学）

委員：吉田 聡（横浜国立大学）、中島 裕輔（工学院大学）、原 英嗣（国士舘大学）、
増田 康廣（日本環境技研(株)）、鈴木 厚志（㈱竹中工務店）、
船越 善博（東京ガス㈱）、田丸 武志（荏原冷熱システム㈱）、
成田 千里（㈱日本設計）、山崎 聡（高砂熱学工業(株)）、
宮崎 久史（新菱冷熱工業㈱）、
橘 雅哉（京環境研究所）

事務局：二見 昌明（技術部長・企画部長）

2. 活動概要

(1) 自主研究関係

- ・次世代を担う研究を実現していくために、今年度はコロナ禍ということから、「コロナ禍後の協会・研究企画委員会の取り組むべき課題を考える」をテーマに今後取り組むべき案を検討した。

その結果をもとに、今後の活動に当たっての取り組むべき課題を次の通り整理した。

- ①協会としての、エネルギー（電力・熱）需要の原単位長期データの蓄積
- ②再エネ普及、水素エネ活用推進などに伴う地域熱供給の対応モデル検討
- ・エネルギーシステム研究会は、2020年度はコロナ禍から休止していたが、2021年度は11月に第10回技術講習会を実施。
（テーマ：脱炭素社会に向けての地域エネルギーシステムの現状と将来像）

(2) その他

- ・地点熱供給データベースの作成

地点越供給については、熱供給事業法の対象の地域熱供給地区と異なり定義も明確になっていないことから、実態を把握することが難しいが、協会として、

「複数の建物に熱導管を介して熱供給を行う施設」と定めて調査を検討中。